



07 COMPANY 株式会社 プラックス

電子機器開発の
ワンストップソリューション



取締役会長 松村 信幸氏

住 所：〒183-0045 府中市美好町1-11-5
 T E L：042-358-4510
 F A X：042-358-4511
 資本金：8,000 万円
 従業員数：160 名
 U R L：http://www.pulax.co.jp
 企業窓口 E-Mail：info@pulax.co.jp



ホームページは
こちらからも
ご覧いただけます

- 特徴
電子機器の試作開発から量産まで一貫してサポートしております。組込みシステム開発からプリント基板設計、基板製作、部品調達、試作実装、量産実装など、あらゆるご要望にお応えいたします。
- 主要製品又は技術
組込みシステム開発・プリント基板設計・基板実装
- 得意とする製品・技術
【組込みシステム開発】
電子機器開発の企画・開発ソリューションをご提供いたします。
・ハードウェア開発：デジタル回路設計、デジアナ混在回路設計
・ソフトウェア開発：ファームウェアおよびPCアプリケーション開発
- 【プリント基板設計】
豊富な実績とノウハウで、高品質なプリント基板設計をご提供いたします。
- 【基板実装】
最新設備を毎年導入し、高密度な基板実装にご対応いたします。
・試作実装：少量多品種に特化した工程管理・設備配備を行い、高品質・短納期でお応えできる確かな技術を有しております。
・量産実装：試作から量産までを一貫して対応することが可能です。試作製造時の工法の活用によるシームレスな量産を実現しております。



(インタビュー-解説)
 電子機器開発のための回路やプリント基板の設計・製作・実装までの一貫サービスを行っているのが、(株)プラックスです。
 (インタビュー)
 プリント基板は、見るからに細かいと思いました。
 どのように作られているのですか？
 (松村会長)
 プリント基板は絶縁された層の上に金属を貼り付けてプリント配線して、各種機能の部品を繋いで製品を作っています。
 人間で言えば、目の機能、耳の機能など各種機能を持った部品がありますが、プリント基板も同じで、それぞれを配線で繋げ、一つの目的を達成する製品です。
 (インタビュー)
 (株)プラックスの強みは、どこにあると思いますか？
 (松村会長)
 私共の会社は、試作開発に特化してやってまいりました。どんな製品でも短納期で正確に作れる、そういった生産設備を保有しております。

社員も、新しいモノに対応する能力が付いておりますので、試作開発に関しては日本で一番ではと思っております。
 (インタビュー)
 ヒトとモノ(経営資源)の重要性ですね。『ものづくり』をするうえで、最も大切にしている事はなんですか？
 (松村会長)
 一般的に製造業は、安く、早く、大量に作ることを目指しておりますが、私共の製品は、試作開発が中心ですので、もちろんスピード、それから正確にお客様の要望を製品に反映するサービス面、さらにお客様に早く確実な製品をお届けするのが我々の使命だと思っております。
 (インタビュー)
 今後の展望や目標をお聞かせください。
 (松村会長)
 試作品の提供をいたしますと、次に大量ではないですけど、中量生産をやってくださいというお客様の要望もございます。
 せっかくなので試作で動いたと、それでは次の中量生産の製品を作ってくださいという要望に応えるために中量生産ライン設置を計画しており、そういったお客様の要望にも応えていきたいなと思っております。
 (撮影時 2017年9月、2018年現在：中量生産ライン導入済み)
 (インタビュー)
 これからも、みなさんの声には是非応えてください。
 ありがとうございました。

◆ まるごと府中 ものづくりの現場 NOW! 2017年9月11日~20日 Youtube 放映分より



設計から製作まで
トータルエンジニアリング!
受配電設備、制御装置など
株式会社 友伸エンジニアリング



取締役常務 新保 弘樹 氏

住 所：〒183-0014 府中市是政 2-16-23
T E L：042-367-2111
F A X：042-368-8900
資本金：10,000 万円
従業員数：129 名
U R L：http://www.yushin.co.jp
企業窓口 E-Mail：usui@yushin.co.jp

ホームページは
こちらからも
ご覧いただけます



●特徴

当社は、産業用コンピュータのソフト開発・電気設備の製作を経て、技術を磨き、お客様のご要望にお応えしてまいりました。設計・製造・販売を板金から納品後のアフターフォローまで一貫体制で実施。お客様のご要望を形にする完全受注生産の高い技術力には定評、水素ステーションや次世代 ERP への納品など、チャレンジな仕事も多数実施しております。

●主要製品又は技術

- ・受配電設備、制御装置、設備装置、総合計測制御システムの電気計装エンジニアリング
- ・各種受配電盤・計装盤・制御盤・操作盤・コントロールセンターの設計・製作

●得意とする製品・技術

【電子機器開発】

(1) 清掃工場の司令塔を担う各種プラント設備

環境設備やプラント設備の受配電をはじめ、監視・制御・操作盤のハードウェア・ソフトウェアを一括して設計・製作しています。

(2) 電力の安定供給を支える受配電設備

創業以来、数多くの受配電設備を手がけてきた実績のもとに、お客様のニーズに合わせた設備を提案し、製作します。

■お客様のニーズに合わせ、設計から製作・アフターサービスまで高度化・複雑化する都市環境のニーズにお応えするため、日々技術力を高め、電力設備や各種制御システムを供給しています。



(インタビュー)

府中市是政の株友伸エンジニアリングさんを訪問しました。(新保常務)

私共の会社では、配電盤(※1)を生産しており、お客様の要望を設計時から取り入れ、そして生産、現地へ納入、調整を一気通貫で実施する会社です。

配電盤(※1):電力を分配するための計器・スイッチなどを取り付けた盤

(インタビュー)

『ものづくり』で最も大切にしていることはなんですか？(新保常務)

はい。『ものづくり』は『人づくり』と言われる。

我が社では『人づくり』を重視しており、人材育成、技能教育に時間とお金をかけております。

(インタビュー)

今後の展望を聞かせてもらえますか？

(新保常務)

今まで社会は、ずっと右肩上がりだと言われてきて、今

後大きく右肩上がりはないと想定しています。そうすると利益はどうやって出すか…。先程の人材です。

教育すると同時に、今まで掛かっていた余分な費用(当社では顧客クレーム)を減少させ、その分、付加価値を上げようと計画しております。

(インタビュー)

人を育て、お客様の信頼を、もっと築いていくということですね。

ありがとうございました。幅広く人材を確保するために、福島県や岩手県にも工場を構えているという事です。

【生産現場にて】



東京工場 工場長 天野 純夫 氏

(インタビュー)

家庭にも配電盤はありますが、大きな配電盤ですね。

(天野工場長)

高圧配電盤と言います。

大きなスーパーや病院などで使われています。

また、こちらは低圧の配電盤、制御盤という製品になります。舞台装置のカーテンや幕の上下に使われます。

または、ボードの上下を制御します。(ぜひ、Youtube画像を視聴下さい)

特徴はハード回路と言いますが、一つ一つのリレーの組み合わせで動く制御盤になりますが、こちらは(低圧の配電盤) PLC という部品が入っており、ソフトウェアによる制御を行っております。

当社では、この盤自体、ハード的な部分とソフト的なプログラム部分も制作し検査して納入しております。

(インタビュー)

ありがとうございました。



◆ まるごと府中 ものづくりの現場 NOW! 2017年8月11日~20日 Youtube 放映分より

09 COMPANY

昭和 46 年創業！ プリント配線基板製造・設計・実装に 創造性を持ってニーズに応えます 株式会社 会田プリント製作所



取締役会長 会田 三則氏

住 所：〒183-0026 府中市南町 5-38-30
 T E L：042-364-1243
 F A X：042-360-6502
 資本金：2,300 万円
 従業員数：17 名
 U R L：http://aida-pwb.co.jp
 企業窓口 E-Mail：info@aida-pwb.co.jp

ホームページは
こちらからも
ご覧になれます



●特徴

長年の実績・ノウハウが有り、他社に負けない創造性を持ってお客様のニーズにお応えいたします。通常、量産メーカーでは対応出来ない小 LOT 品・短納期対応・特殊微細加工基板・特殊サイドメッキ基板が得意です。また、設計から実装までのトータルサポートも得意としています。

●主要製品又は技術

- ★ プリント配線基板製造 (ガラエポ基板 / BT レジン基板 / テフロン基板 / アルミ基板)
- ★ パターン設計 (高密度設計デジタル高速回路) 実装 (微細 BGA 実装及びリワーク改造)

●得意とする製品・技術

当社は、プリント基板製造を中心にノウハウを蓄積し、試作設計段階から量産を考慮した基板作りを行い、お客様への適切なアドバイス提案を得意とし、下請けメーカー体質からの脱却を計り提案型営業のスタイルを構築しております。また、試作短納期対応も得意としており、万一の回路不具合においても適切・迅速な改造を行いお客様の大切な時間を増やす事を対価として考えており、常にお客様の立場になって物事を考え遂行して行く会社です。

基板については、片面基板 1 枚からでも基板製造・設計・実装・部品手配が可能で、更に特殊な微細加工 / 座グリ加工 / サイドメッキ加工の特殊な基板製造も行います。

- 次の加工において、当社のパートナーとして、御協力頂ける専門メーカーを検討しております。
 - ・ Cu メッキ処理メーカー (Cu メッキ厚自社内管理測定可能メーカー・UL 取得メーカー)
 - ・ Au メッキ処理メーカー (府中市近郊 / 無電解 Au・電解 Au・ボンディング Au 対応メーカー)

(インタビュー-解説)
 確かな技術と自由な発想でプリント基板の製造・設計・実装をワンストップでサポート。

(インタビュー-)
 社歴が 46 年ということですね。

(会田会長)
 全体的に社長とか (創業者) は、わがままな性格を持っています。

それに対して仕入先・外注先・得意先などが、考えてい

ることについてきてくれたことが良かったと感じております。

(インタビュー-)
 多くの人にも恵まれたということですね。

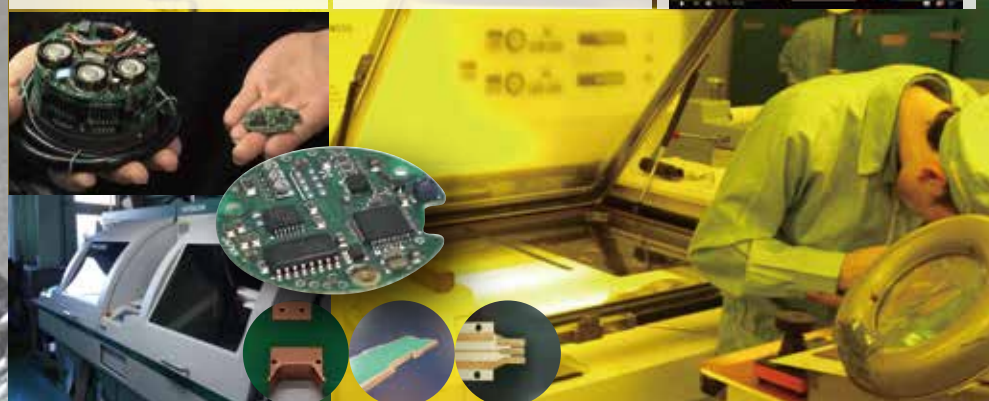
(会田会長)
 はい。その通りです。

(インタビュー-)
 会田会長にとって『ものづくり』は、こういった魅力がありますか？

(会田会長)
 ものづくりというのは 1 つのものを作るのには、0 (ゼロ)

から始めるということが多いわけですね。

自分が考えたこと、それから得意先の必要な事項 (要望) を盛り込みながら、一つのものを完成する満足感というのが『ものづくり』の魅力だと思います。



代表取締役社長 会田 浩氏

(インタビュー-)
 プリント基板を作っている工場にやってきました。

会田社長よろしく申し上げます。

プリント基板の進化についてすごくわかったのですが、今はこういったことをされているんですか？

(会田社長)
 創業者の父 (会長) は、プリント基板製造をやってきましたが、私はもう少し基板の前

後のステップ (川上であれば回路設計、パターン設計) (川下であればプリント板のハンダ付、実装) をトータル的にお客様に提供できることを念頭にやっています。

(インタビュー-)
 最近では「こういったモノを作った」というものがござりますか？

(会田社長)
 車に搭載される自動運転システムのプリント基板です。

回路の設計部分と、川下のハンダ付けの実装ということをやらせていただいております。

(インタビュー-)
 最先端のモノに取り組みられていますね。

会田社長にとって『ものづくり』の魅力ってどういったところにありますか？

(会田社長)
 そうですね、創業者の父は技術畑出身でプリント基板を作ることに題目を置いてましたが、私自体は、サービスも念頭に置いて『ものづくり』をしていこうと思います。

(インタビュー-)
 0 (ゼロ) から 1 を生み、1 から 100 になることですね。

(会田社長)
 そうですね (笑)

(インタビュー-)
 親子二代に渡って、時代に合わせた挑戦を続けています。今後の活躍にますます期待です。

◆ まるごと府中 ものづくりの現場 NOW! 2017 年 12 月 11 日~20 日 Youtube 放映分より

10 COMPANY

メーカー & 商社機能をそなえた
ソリューション企業

多摩岡産業 株式会社



代表取締役社長 岡 哲義 氏

住 所：〒183-0034 府中市住吉町 3-56-8
 T E L：042-361-6585
 F A X：042-365-8737
 資本金：3,900 万円
 従業員数：20 名
 U R L：http://www.tamaoka.co.jp
 企業窓口 E-Mail：oka.yohei@tamaoka.co.jp

ホームページは
こちらからも
ご覧になれます



●特徴

すべての技術は、豊かな人間社会の形成に貢献するためにある、と確信して当社は昭和46年に医療用 X 線用品とゴム・プラスチックの加工販売を目的として設立し、常に時代に応じた新分野を開拓しつつ、社会のニーズを先取りしてまいりました。現在当社は、大手工場とのお取引をメインとして、更に数多くのお得意様からも、お取引をいただいております。

●主要製品又は技術

- ・樹脂加工（アクリル、PVC、PC、PET、FRP 他全般）
- ・小物板金・各種銘板（彫刻銘板、シール銘板他）・医療機器・高周波ウェルダ加工

●得意とする製品・技術

- 樹脂加工品：短納期、小ロット、低コストでの製品提供が可能
- 医療機器：当社は、医療機器製造業及び製造業の認定工場の為、医療機器の製造販売が可能

【実績】

CT スキャン補助用具、MRI 基盤用樹脂加工、光トポグラフィ用センサーバンド他構成部品

●海外活動

中国（上海）、タイ（バンコク）にも生産拠点を持ち樹脂成型から組立てまでを行う。海外調達（コストダウン）には是非お役立て下さい。

- 求める製品・技術
小回りのきく板金、鍍金、塗装業者

マルチリンガルサイネージ ※1



収納庫タイプ(下扉窓付き)

収納庫タイプ(下扉窓無し)

携帯スタンド ※2



美顔器 ※3



ベビキュア ※4



(ｲﾝﾀﾞﾞｱ-解説)

地震発生時に、日本語の他に英語・中国語・韓国語の言葉で迅速な避難を呼びかけることができるマルチリンガルサイネージを開発しました。※1

プラスチック加工品の制作を中心に医療用品、商業用ディスプレイまで様々なものを開発しています。

(ｲﾝﾀﾞﾞｱ-)

こちら、携帯電話につけるだけで簡単な携帯スタンドに大変身。※2

こちらは、美顔器。※3

さらに、医療機器まで製造販売しています。※4

(岡社長)

医療機器は、赤ちゃんの鼻水吸い取り機で「ベビキュア」と言います。※4

(ｲﾝﾀﾞﾞｱ-)

どのように使うのですか？

(岡社長)

ベビキュアは、ホース（小さなノズル）で赤ちゃんの鼻水を吸い取ります。

(ｲﾝﾀﾞﾞｱ-)

いろいろなものを作られてるなと思います。

デジタルサイネージは、どうして作るうと思われたんですか？

(岡社長)

2020年にオリパラがあります。

外国人の方々は、日本は地震が多いという認識が非常にあり、地震が来た時にどう避難をするかが課題になっていたんです。

4ヶ国語で同時に逃げる場所ですとか、どこに避難したらよいかをいち早くわかるようになっておりまして、役に立つのではないかとということで作りました。

(ｲﾝﾀﾞﾞｱ-)

こういったモノがどんどん生み出されるんでしょうか？

(岡社長)

(笑)お客様のお陰だと思っております。当社は、日立・東芝さんの一時下請けをしておりますが、いろいろな製品開発のお話が会議で出ます。

それが新マーケットのヒントになります。

(ｲﾝﾀﾞﾞｱ-)

岡さんにとって『ものづくり』ってどういった存在ですか？

(岡社長)

僕にとって『ものづくり』は子供みたいなもんでして、自分の想いを製品にしているということが夢だったもんですから、それを切磋琢磨して大きく仕上げていくところが僕にとっての『ものづくり』だと思います。

(ｲﾝﾀﾞﾞｱ-)

今後の展望について教えてください。

(岡社長)

現在、経済産業省さんのマッチングで地震センサーを開発しております。

地震がきますと漏電ブレーカーをシャットダウンして、漏電から起きる火災を防ぐ装置です。※5

(ｲﾝﾀﾞﾞｱ-)

暮らしを守るための、そういった製品を楽しみに待っています。

手作業が必要なものに関しては府中にあります工場で、大量生産が必要なものは、タイや中国の自社工場生産をしているということです。



感震センサー ※5

◆ まるごと府中 ものづくりの現場 NOW! 2018年3月11日~20日 Youtube 放映日より

COMPANY

昭和 6 年創業の 水準器製作・設計専門メーカー 株式会社 諸越レベル



代表取締役社長 市村 明敏 氏

住 所：〒183-0011 府中市白糸台 2-5-1

T E L：042-365-5036

F A X：042-365-5403

資本金：1,000 万円

従業員数：6 名

U R L：http://www.mklevel.com

企業窓口 E-Mail：mlk.level@jcom.home.ne.jp

ホームページは
こちらからも
ご覧いただけます



●特徴

創業時より水準器（レベル）を、手作りにより、特殊加工、小ロット加工、試作加工等を実施しております。

全ての製品に職人の特殊技術が活用され、小回りが効き、他社が模倣出来ない加工製作が得意の老舗企業です。

●主要製品又は技術

水準器全般を製作。特に、航空機用旋回計レベル、船舶用角度計、自動制御用電子レベルスイッチ等の特殊レベルを手加工による製作加工です。

●得意とする製品・技術

水準器は、「傾斜測定」や「モノの水平確認」の時になくてはならないものです。

航空機、船舶、体重計、測量器、バネばかり、機械工作機器他、水平確認を要求されるシーンが多数あります。

洗濯機で見かける事もありますが、普段はDIY好きの方以外は必要性をあまり感じる事はないと思います。

ところが立派な縁の下の力持ちな製品です。

国内では同業種が少なく、弊社しか出来ない加工も行っています。航空機が旋回するにあたり指標とする計器に取り付けてあるレベル、船が航行する際に欠かせないジャイロコンパスに使用するレベル他、様々なシーンで使用する水準器を、全て手作りの加工製作です。

●求める製品・技術

ガラス管への目盛印加工技術（わん曲したガラス管）：フィルム印刷等、ガラス対ガラスの接着剤（耐薬品等）

（インタビュー-解説）

水準器は、体重計、洗濯機、船、飛行機まで、さまざまなものに使われています。

一見簡単な構造に思えますが、利用目的により精度を高めるために特殊な液体を使ったり、精密な手作業でガラス管を曲げるなど、さまざまな工夫が施されています。

水準器を 80 年以上に渡り作り続けているのが諸越レベルです。

昭和 6 年創業。職人による特殊技術の加工制作企業です。

※1



（インタビュー）

80 年以上に渡り水準器を作り続けているということですが、こちらはなんですか？※1

（市村社長）

日本では、当社しか作っていない航空機用の旋回計という水準器です。

（詳細説明は、YouTube をご覧ください！）

（インタビュー）

飛行機が安全に飛ぶためには、欠かせないものなんですね。

作業部屋にお邪魔していますが、どんな作業をしているか教えてください。

わっ暑いんですねここ（笑）

（市村社長）

約 1,300 度の炎によってこのガラス管



を曲げるため、まずガラス管を柔らかくするために 1,300 度の熱で均一に炎をあて、尚且つ航空機用は中にボールが入ります。

それが引っかけないように口に啣えているゴムチューブ、これによって空気を入れて潰れないように加工しております。

（インタビュー）

一つ一つ手作業でされているんですね。職人の手作業に特化されているなどと思いました。

どうして特化されているんですか？

（市村社長）

弊社で受けるものというのは多品種・少量。

この少量というのは機械化できない一番の大きな理由になります。

どうしても手作りせざるを得ないということ、あともう一つは手で作らないとその精度が維持できない、もしくは要求に応えられないというところが大きな手作りのこだわりだと思います。

（インタビュー）

諸越レベルさんにとって、『ものづくり』とは、どういったものだと言えますか？

（市村社長）

まず、職人は自分との戦いだと思います。要求されるものに答え、さらに、どのように自分のスキルを上げるかが要です。

流行の IoT・AI とは違った人間味や温かみのある『ものづくり』に特化しています。

（インタビュー）

これからも温かみのある職人の技を楽しみにしています。

（インタビューの後に）

この仕事にとって一番大切なのは、火と空気とガラスと友達になることとおっしゃっていました。

まさに職人の技が詰まった現場でした。



◆ まるごと府中 ものづくりの現場 NOW! 2017 年 10 月 11 日～20 日 Youtube 放映分より

12 COMPANY

デジタル精密水準器
メカトロ開発の
ファブレスメーカー

株式会社 Any Design



開発部長 梶木 幹雄 氏

住 所：〒183-0014 府中市是政 1-43-22
T E L：042-315-9801
U R L：http://anydesign.jp
企業窓口 E-Mail：info@anydesign.jp



ホームページは
こちらからも
ご覧いただけます

●特徴

メカトロ開発・設計会社。2015年3月にNet対応「デジタル精密水準器」をリリース。ARM,H8,AVR,PIC、FPGA,CPLD、機構、等 ファーム、機構、アプリ開発まで実施。

●主要製品又は技術

- ・デジタル精密水準器
- ・微細傾斜計測応用製品

●得意とする製品・技術

- ・当社のデジタル精密水準器は分解能 0.001mm/m の微細傾斜検出能力で、外部データ出力は標準で無線の Bluetooth と有線の USB に出ています。
 - ・スマホや PC のフリーアプリで離れたところでも手元で計測値が見られます。奥、高所などでも計測可能で Log ファイルも得られます。
 - ・常時監視用途に最適です。設備監視用途、防災用途などさまざまな市場に向け、一層小型化、低価格化も、計画しています。
 - ・新開発の機構により容易に量産。
 - ・分解能、スパンなど用途に合わせ、自由な変更にも対応。
- これまで無かった超精密に傾斜を遠隔地で監視するコアセンサーとしてご利用ください。

○取得済み特許 3 件

■新方式のシンプルな「デジタル精密水準器」

- ・本体は個別に ID を設定できます。無線通信でも同時に複数台のデータを識別。
- ・実績の「気泡管」と温度変化の無い「画像センサー」でデジタル化。
- ・「デジタル数値」と「気泡位置」の両方を同時に表示。
- ・誤差補正ファームウェアで高精度です。
- ・Bluetooth&単 3x3 電池パックを標準付属。
- ・オプション：RS232C 変換ケーブル、WiFi、LAN
：V 溝ベース、組み付け用 M5*2 etc



Level Man

製造元は国内 JIS 工場

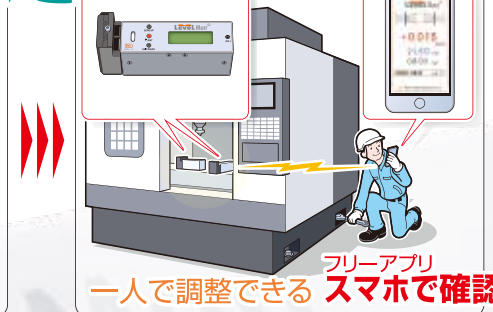
安定した生産に貢献している製品

多くの実績と確かな信頼メカトロ設計開発

1ミクロン/m 超精密水準器 [気泡管式デジタル]



手間も時間もかかって大変



フリーアプリ
一人で調整できる スマホで確認

(ｲﾝﾀﾞｰ解説)

わずかな地盤の傾きまでわかる水準器、なんと 1メートル先で、1ミクロンの傾きまで測定することができるそうです。

この超精密な水準器を開発したのが(株) Any Design です。

(ｲﾝﾀﾞｰ)

水準器が 1メートルの範囲の中で 1ミクロンの傾きまでわかるということですが、1ミクロンがピンと来ません。

どのくらいですか？

(梶木部長)

髪の毛が約 100ミクロン。

その 100分の1が、1メートル先にちょっと挟まった。それで水準器は 1カウント上がります。

(ｲﾝﾀﾞｰ)

髪の毛よりも細かいもので、とても高性能ということがわかりました。

どのような仕組みなんですか？

(梶木部長)

これまでと同じ、泡が動くアナログの気泡管が入っています。

この泡が動いた位置を画像センサーで読んでいます。

このデータはインターネットで世界中どこにいても見られます。

(ｲﾝﾀﾞｰ)

世界中?! どのくらい使われているんですか？

(梶木部長)

例えば今、撮影しているカメラやレンズの加工や IC の工場、スマホの液晶や金型を作る工場などサブミクロンの加工現場で使われています。

また、マシニングセンタ(※1)というのがありますが、精度を出すには、それ自体が真っ平らに設置されていないと加工精度ができません。

当社の製品はこの真っ平を監視し、高精度な加工をするために使われています。

(ｲﾝﾀﾞｰ)

この水準器を使って地滑りなどを予測するために、道路などにも設置する構想もあるそうですね。

(梶木部長)

これから、さらにそこに(地滑り予測など)向かっていけるように、もう少し磨きをかけたいと思っています。

マシニングセンタ(※1)：複雑な数段階の加工を自動的に行う工作機械



◆ まるごと府中 ものづくりの現場 NOW! 2017年5月11日~20日 Youtube 放映分より